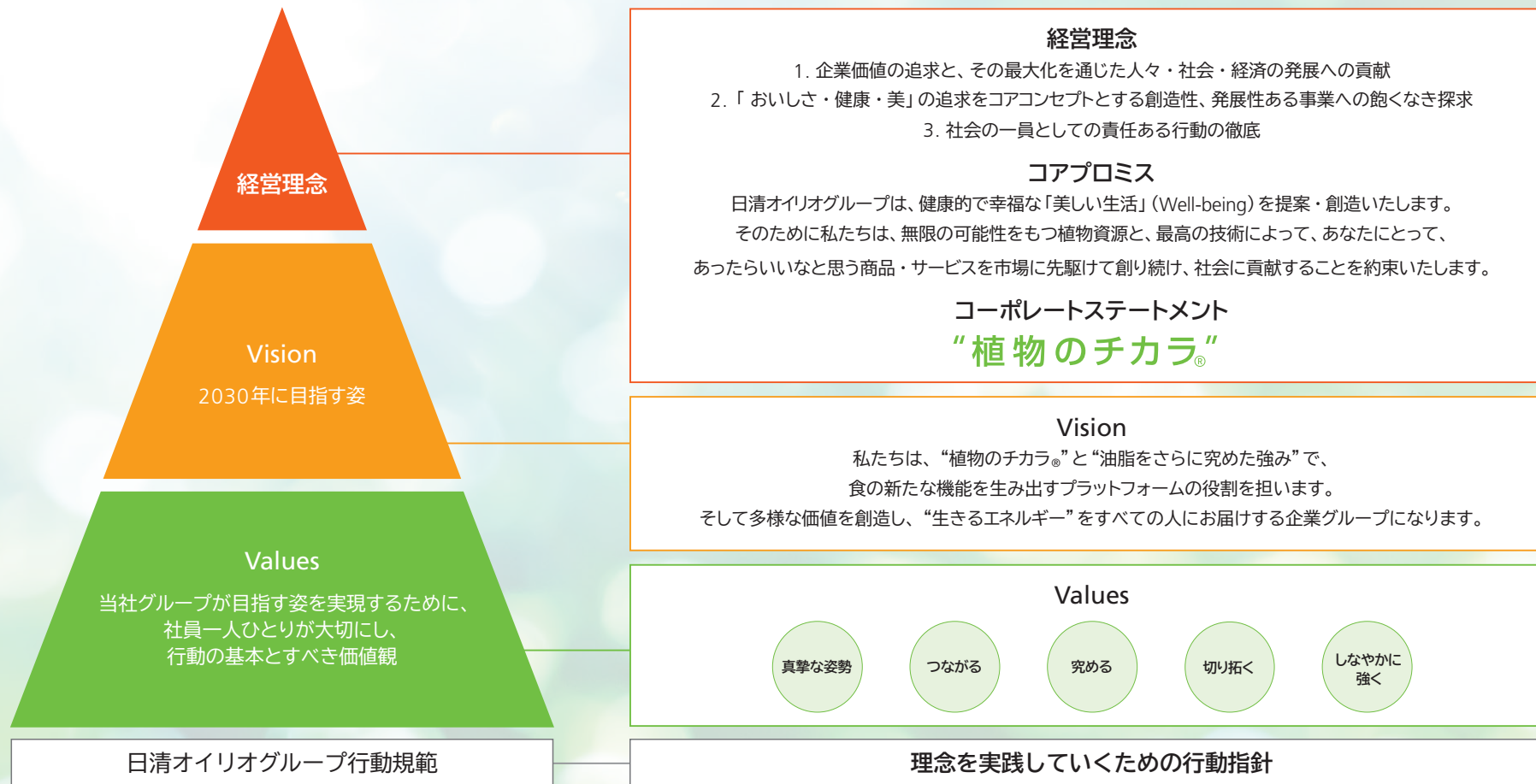


日清オイリオグループ 理念体系



5つのValuesについて

当社グループは1907年の創立以降、製品の開発・生産、品質、お客さまへの対応などすべてにおけるきめ細やかな「真摯な姿勢」と、モノづくりを起点に発展してきた企業グループであるからこそ根付いた、人が「つながる」チームワークと組織力を大切にしてきました。これらに加えて、当社グループが2030年に目指す姿(Vision)に至るために、次の考え方をこれまで以上に大切にします。

- 当社グループの競争力の源泉となる強み、すなわちコアコンピタンスである油脂を「究める」こと
 - 多様な価値を創造するためには、未知の事業領域や、展開地域、技術領域に挑戦し、新しい領域を「切り拓く」こと
 - 変化が激しい時代に向かっていくなかで、変わらなければならないものと変わってはいけないものがある。すなわち、変化を受け入れて変わる姿勢と当社の良さを変えない姿勢を併せ持つ、「しなやかに強い」適応力
 - 様々なネットワークとの「つながり」を活かし、これまでよりもっとお客さまの近くでビジネスを展開すること
- 「真摯な姿勢」「つながる」「究める」「切り拓く」「しなやかに強く」の5つのValuesを行動の基本とします。

統合報告書2025 ハイライト

日清オイリオグループでは、中長期的な価値創造戦略を財務・非財務の両面からステークホルダーの皆さまにお伝えすることを目的に「統合報告書」を発行し、事業活動を通じた価値創造の取り組み、サステナビリティ実現へのストーリーをご紹介します。今回の「統合報告書」では、2025年度からスタートした新中期経営計画「Value UpX」の戦略を中心に、「ビジョン2030」で目指す姿の実現に向けた成長の道筋をお伝えします。

社長メッセージ



グローバルトップレベルの油脂ソリューション企業への飛躍を目指し、新中期経営計画「Value UpX」を開始しました。

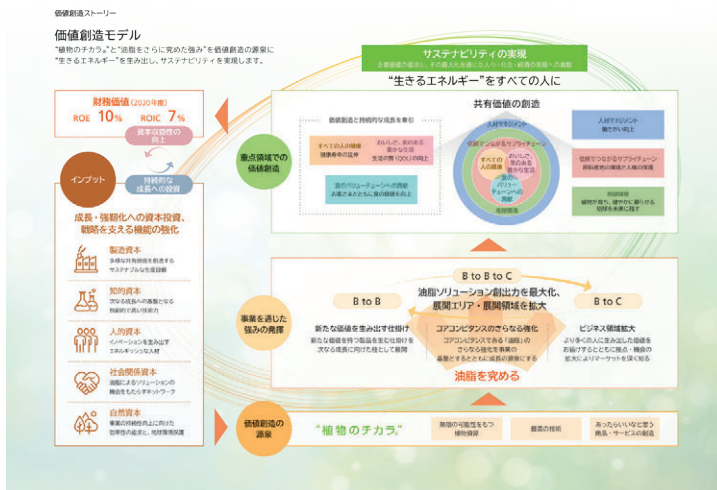
タイトル「Value UpX」に込めた4つの想いを語ります。

企業価値向上に向けた戦略

2025年からの新中期経営計画「Value UpX」では、次なる成長に向けた戦略を推進していきます。



価値創造ストーリー



“植物のチカラ®”と“油脂をさらに究めた強み”を価値創造の源泉に“生きるエネルギー”を生み出し、サステナビリティを実現します。

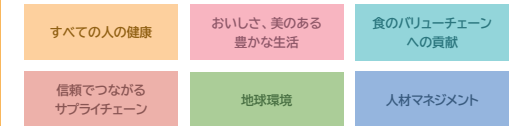
財務担当役員メッセージ



目指す成長に向けたROICマネジメントについて語ります。

日清オイリオグループビジョン2030

“生きるエネルギー”をすべての人にお届けするために6つの重点領域(マテリアリティ)を設定しています。



特集 資本収益性向上に向けて



営業、生産、物流が一体となり、思考の転換とプロセス変革を実現します。それぞれの取り組みを担当役員が語ります。

社外取締役鼎談

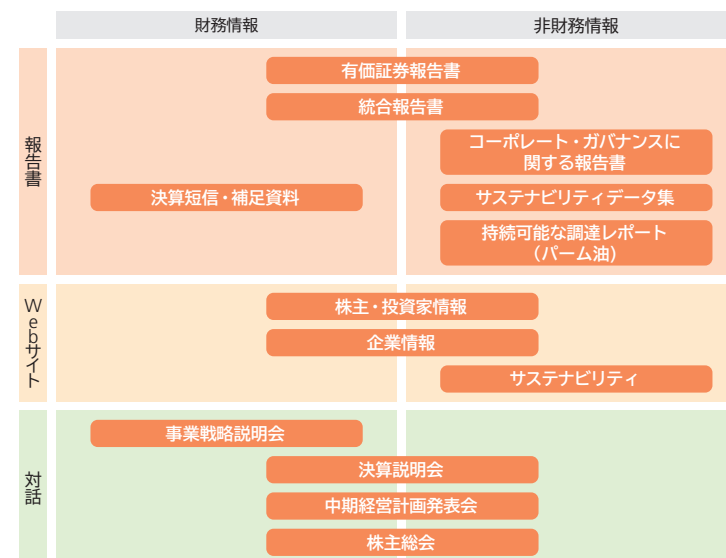


「ビジョン2030」で目指す姿の実現に向けたガバナンス強化のポイントを語ります。

目次

1	日清オイリオグループ 理念体系	36	事業戦略
2	統合報告書2025 ハイライト	37	グローバル油脂・加工油脂
3	目次／コミュニケーションの全体像	39	油脂・油糧および加工食品・素材
4	現在の姿	42	ファインケミカル
5	ネットワーク	44	特集 資本収益性向上に向けて
6	社長メッセージ	47	戦略の実現に向けて
12	価値創造ストーリー	48	人材マネジメント
13	成長の軌跡	50	研究開発と知的財産
14	価値創造モデル	52	デジタル・IT
15	インプット	54	サプライチェーン／サステナビリティ
16	日清オイリオグループの強み	58	コーポレートガバナンス
17	日清オイリオグループらしい“勝ち筋”	59	経営体制
18	日清オイリオグループビジョン2030	60	ハイライト
19	「ビジョン2030」概要	61	社外取締役役員
20	目指す姿の実現に向けたCSV目標の見直し	65	監査役メッセージ
21	重点領域 すべての人の健康	66	コーポレートガバナンス体制
22	重点領域 おいしさ、美のある豊かな生活	67	取締役・監査役スキルマトリックス
23	重点領域 食のバリューチェーンへの貢献	68	取締役会の実効性評価
24	重点領域 信頼でつながるサプライチェーン	69	役員報酬制度
25	重点領域 地球環境	71	IR活動によるエンゲージメント強化
26	重点領域 人材マネジメント	72	リスクマネジメント・情報セキュリティ
27	企業価値向上に向けた戦略	73	コンプライアンス
28	新中期経営計画「Value UpX」スタート	74	業績・企業情報
29	経営目標	75	財政状態および経営成績等の分析 (MD&A)
30	戦略の全体像	77	11カ年財務ハイライト
31	基幹戦略	78	2024年度におけるCSV目標の実績
32	ROICマネジメント	80	会社情報
33	財務担当役員メッセージ		

コミュニケーションの全体像



編集方針

「統合報告書2025」は、日清オイリオグループの中長期的な価値創造について財務・非財務の両面からお伝えする媒体として発行しています。株主・投資家を中心とするステークホルダーの皆さまに、長期的な企業価値創造ストーリーをご理解いただければ幸いです。編集にあたっては、IFRS財団による「国際統合報告フレームワーク」と、経済産業省による「価値協創のための統合的開示・対話ガイダンス」を参考にしました。

報告対象期間

2024年4月1日～2025年3月31日

一部に当該期間外の取り組みが含まれています。組織・役職名は2025年9月末現在のものを記載しています。

報告対象範囲

日清オイリオグループ株式会社と連結子会社（国内・海外）を含むグループ全体を対象としています。ただし、一部の取り組みについては、日清オイリオグループ株式会社単体を対象としています。

報告書中での表記について

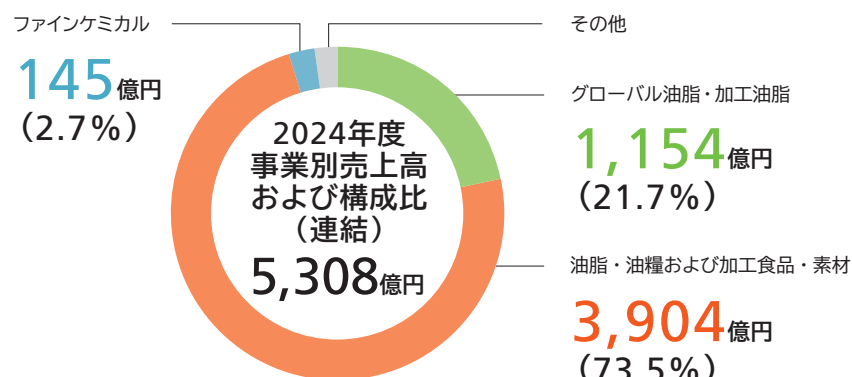
日清オイリオグループ株式会社単体を「当社」、日清オイリオグループ株式会社と連結子会社（国内・海外）を含むグループ全体を「当社グループ」としています。また、以下の会社については一部で略記を用いています。

<会社名／略記>

ISFグループ
 Intercontinental Specialty Fats Sdn.Bhd./ISF
 Intercontinental Specialty Fats (Shanghai) Co., Ltd./ISF上海
 Intercontinental Specialty Fats (Italy) S.r.l./ISF Italy
 Nisshin OilIO America Inc./NOA
 T.&C. Manufacturing Co., Pte. Ltd./T&C
 PT Indoagri Daitocacao/IADC
 Industrial Quimica Lasem, S.A.U./IQL
 IQL-USA Inc./IQL-USA
 日清奥利友(上海)国際貿易有限公司/NOST

現在の姿

植物油のリーディングカンパニーとして食用油市場で圧倒的な存在感を示しています



グローバル油脂・加工油脂

北米
ISFグループ



油脂・油糧および加工食品・素材

油脂・油糧

- 油脂・加工油脂
- ミール

加工食品・素材

- チョコレート
- 機能素材・食品
- 調味料、大豆素材・食品



ファインケミカル

ファインケミカル



食用油の国内シェア
(販売量)

1位※1

CBEの
グローバルシェア
(重量)

約6%※2

化粧品油剤の
グローバルシェア
(金額)

約6%※2

機能性油脂・
機能性油剤の販売額
※除くフライ油

43億円

特許保有件数
(国内・海外子会社含む)

約1,320件

パーム油農園までの
トレーサビリティ比率

92.9%

CO₂排出量削減率
(2016年度比)
(Scope1、2)

20.7%※3

従業員数(連結)

3,254名

※1 日刊経済通信社調べ ※2 当社推計 ※3 速報値

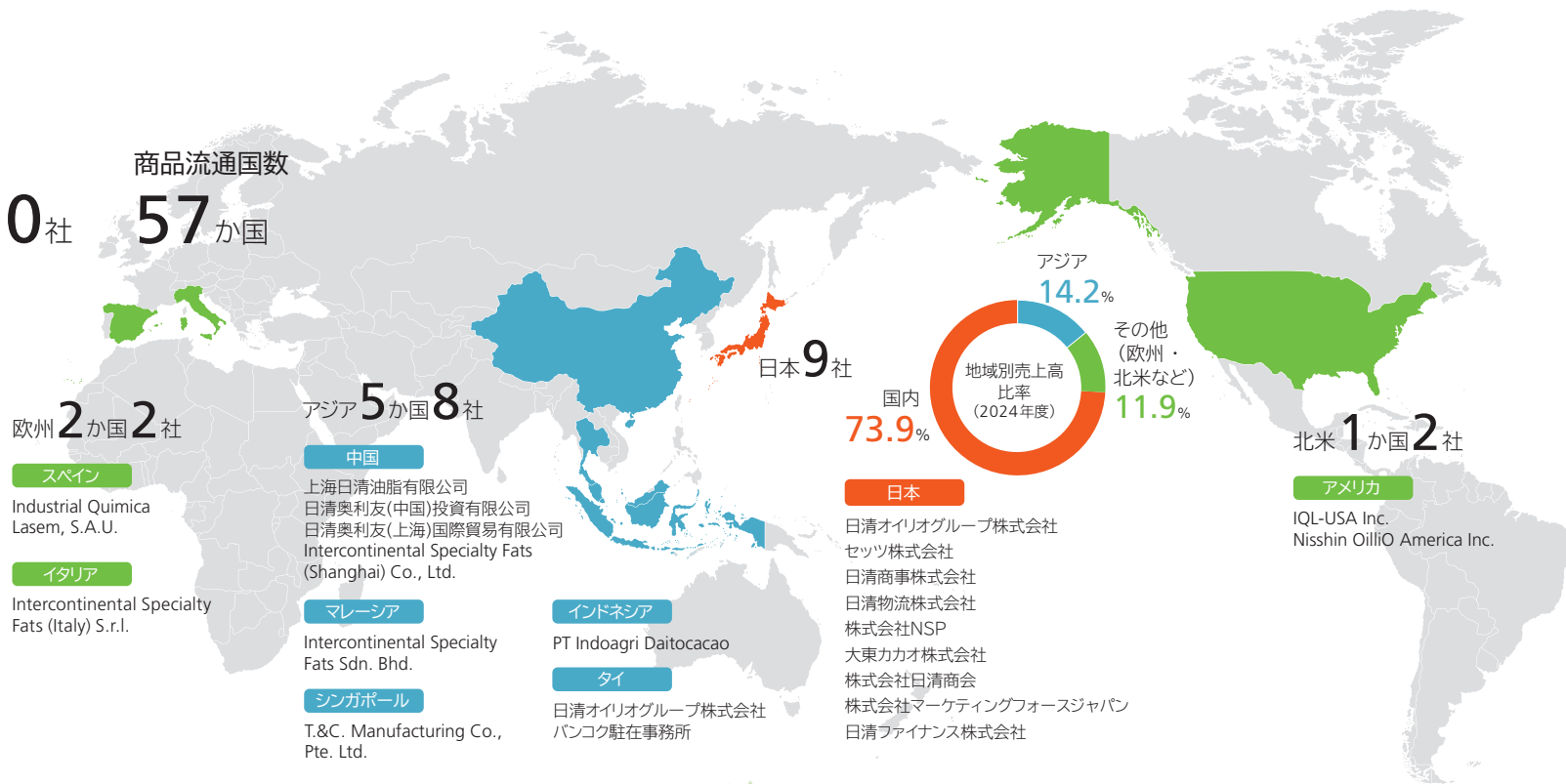
ネットワーク (2025年9月末現在)

主要拠点数

9か国 20社

商品流通国数

57か国



主要拠点

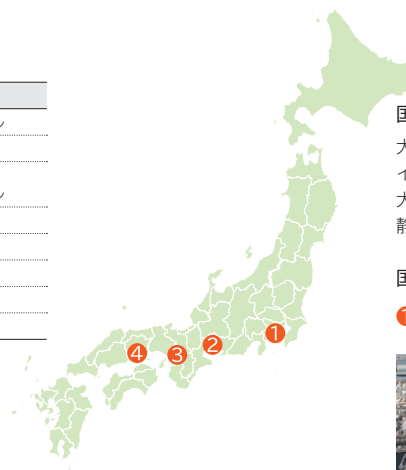
	機能	事業
日本	製造/販売/研究	油脂・油糧および加工食品・素材/ファインケミカル
マレーシア	製造/販売/研究	グローバル油脂・加工油脂
中国	販売	グローバル油脂・加工油脂/油脂・油糧および加工食品・素材/ファインケミカル
シンガポール	製造/販売	油脂・油糧および加工食品・素材
インドネシア	製造/販売	油脂・油糧および加工食品・素材
スペイン	製造/販売	ファインケミカル
イタリア	製造/販売	グローバル油脂・加工油脂
アメリカ	販売	グローバル油脂・加工油脂/ファインケミカル



ISF (マレーシア)



IQL (スペイン)



国内事業所一覧

大阪事業場、横浜磯子事業場(横浜磯子工場)、名古屋工場、堺工場、水島事業場(水島工場)、インキュベーションスクエア(研究所)、北海道支店、東北支店、関東信越支店、東京支店、東海北陸支店、大阪支店、中四国支店、九州支店、盛岡営業所、郡山営業所、新潟営業所、長野営業所、首都圏営業所、静岡営業所、北陸営業所、四国営業所、岡山営業所、鹿児島営業所

国内生産4拠点

① 横浜磯子事業場
敷地面積: 約233,100㎡



② 名古屋工場
敷地面積: 約98,800㎡



③ 堺工場
敷地面積: 約28,800㎡



④ 水島事業場
敷地面積: 約110,000㎡

